

# 火災が多発しています

平成29年7月13日現在で7名の死者が発生しています

- 7月12日現在で、全焼の住宅火災10件で、死者7名。過去5年で最も多くなっています。



カセットボンベ・スプレー缶の穴あけや取扱いを間違えると事故につながります

- 完全に使い切り、必ず屋外の風通しの良い火の気のない場所で穴をあけて処分しましょう。
- 台所でカセットボンベなどに穴をあけると、コンロなどの火に引火してしまいます。
- 穴をあけないまま捨てると、ゴミ収集車内で容器が破裂してしまいます。
- 卓上コンロより大きい鍋などを使うと、カセットボンベが熱せられて爆発してしまいます。

着ている服に火がつく「着衣着火」に注意しましょう

- 調理中、ガスコンロの向こう側の鍋を取ろうとして袖口に火がついてしまいます。
- ろうそくに火をつけたまま、仏壇の奥に手を伸ばすと袖口に火がついてしまいます。
- 燃えやすい服装でたき火をし、火に近づくと、衣服に燃え移ってしまいます。

燃えにくい素材の「防災物品」を使用しましょう

- カーテン、衣類、布団などはできるだけ、燃えにくい素材の「防災物品」を使用しましょう。

火を使うときは、目を離さないようにしましょう

- たき火、調理中のコンロの火、仏壇のろうそく、タバコの火等から目を離し、火災になります。火を使うときは、絶対に目を離さないようにしましょう。

住宅用火災警報器を設置しましょう

- 寝室に住宅用火災警報器を設置し、火災に備えましょう。  
住宅用火災警報器による火災の早期発見が、今年には既に3件ありました。  
また、設置して10年経ったものは本体ごと交換しましょう。



過去5年間の7月13日までの火災概要

年	総火災件数	住宅火災	うち全焼火災	死者数	負傷者数
平成25年	53	16	6	6	6
平成26年	70	20	9	3	15
平成27年	63	18	6	4	17
平成28年	57	14	5	1	7
平成29年	78	22	10	7	8